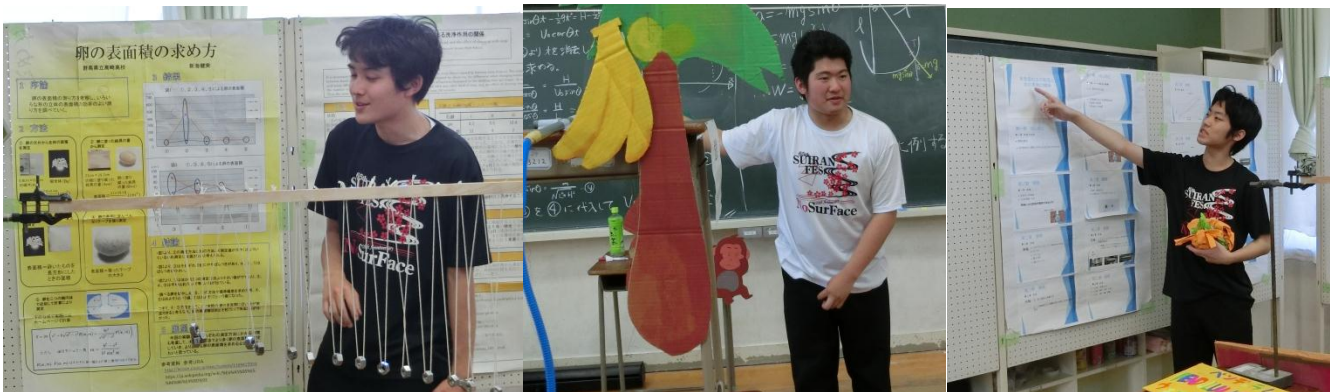


第65回翠巒祭

6月3, 4日に“*No SurFace*”というテーマのもと第65回翠巒祭が行われ、12,698人ももの来場者を迎えて様々な企画や展示が人々の目を楽しませました。

SSH活動としては、2年1組がサイエンスフェスタとして、振り子の共振現象や、物体の落下と放物線の関係を利用したモンキーハンティングゲームなど様々な科学実験を行いました。来場者も身近に体験でき、好評でした。また、ゲリラライブ的に中庭で共振現象の実験も行われ、校舎間に渡したロープとバケツを使ったダイナミックなアトラクションとして成功させました！



また、昨年行った課題研究において上位入賞を果たした生徒が、ポスター発表として各自の研究成果を来場者に直接説明しました。

先端科学講座「JAXA 宇宙講座」 宇宙航空研究機構石井康夫先生



6月16日、宇宙航空研究機構の石井康夫先生に来校していただき、2年1組生徒を対象とした講座を実施しました。宇宙に関する基本的な知識をクイズ形式(景品付き!)で確認したり、海外の事例も含む実際の宇宙研究開発に関するお話を聞き、理系男子の心はグッと掴まれて、今後の学習へのモチベーションがかなり高まったようです。生徒からは「なぜ重力は存在するのか?」「生身で宇宙に行くとどうなるのか?」など積極的に質問があがり、石井先生も「いつもよりもかなり前のめりで(=積極的に)聴いてくれたし、理解力に優れ、さすが高生だ!」と感想を話してくださいました。

「物理×数学クロスカリキュラム授業」実施

6月19日・20日には「クロスカリキュラム物理×数学」融合授業を、2年SSHクラスで実施しました。物理の中島教諭の指導の下「空気抵抗を受ける物体の落下運動の解析」というテーマで、「物理現象を微積分を用いて解析する手法を身につける」ための実験や考察を2日に渡って行いました。生徒にとってはかなり難解な課題だったが、「理論だけでなく、現象を目で見て体感することで、より理解が深まった」「考えるのが楽しかった」といった感想もあり、学ぶ醍醐味を味わうことができる授業となりました。今後も、「物理×化学」「物理×地理」などのクロスカリキュラム授業が予定されています。



SSHにかかわる活動 in SUMMER

○ 物理チャレンジ 2017

7/9(日) 第一チャレンジ(理論問題) 本校で実施

実験課題「重力加速度の大きさを測ってみよう」

8/19(土)~22(火) 第二チャレンジ(実験+理論問題) 岡山県青少年センター

○ 日本生物学オリンピック 2017 7/16(日) 本校で実施

8/19(土)~22(火) 本選(実験試験)と研究室訪問等 広島大学

○ 化学グランプリ 2017 7/17(月) 一次選考(マークシート式試験) 群馬大学桐生キャンパス

8/18(金)~19(土) 二次選考(実験+記述試験) 筑波大学

それぞれの結果については次号の通信でお知らせします!!